



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジー・ネットワークス
コード番号 7474 URL <http://www.g-networks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 阿久津 貴史

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 小西 隆弘

TEL 0836-83-5511

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,715	1.9	△34	—	△32	—	△21	—
24年3月期第1四半期	1,684	△1.2	△8	—	△12	—	△23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△0.90	—
24年3月期第1四半期	△0.98	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
25年3月期第1四半期	4,511	92.60	2,183	48.4	92.60			
24年3月期	4,652	93.49	2,204	47.4	93.49			

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,183百万円 24年3月期 2,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,850	9.0	△3	—	△9	—	△55	—	△2.33
通期	8,259	9.8	137	22.9	127	24.9	37	—	1.57

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	23,584,000 株	24年3月期	23,584,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	4,574 株	24年3月期	4,574 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	23,579,426 株	24年3月期1Q	23,579,655 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付けで受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に対する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、欧州での債務問題が深刻となり景気停滞の影響を受け、東日本大震災からの復興需要も一段落した今、消費税増税法案の衆議院可決もあり景気回復に対しては依然として不透明感が拭えない状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、お客様の節約志向が続いており、業界全体としても値下げが常態化する等、当業界を取り巻く経営環境は引き続き厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当社では、主力業態である「おむらいす亭」「長崎ちゃんめん」等、低価格日常食業態が業界全体の低価格競争の中で特に苦戦を強いられたため、当第1四半期の業績は大変厳しいものとなりました。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高は1,715百万円(前年同四半期比1.9%増)となり、営業損失は34百万円(前年同四半期は8百万円の営業損失)、経常損失32百万円(前年同四半期は12百万円の経常損失)、税金費用の負担減があり四半期純損失は21百万円(前年同四半期は23百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

①外食事業

外食事業につきましては、低価格競争が激化している中、「おむらいす亭」「長崎ちゃんめん」の低価格日常食業態が大きく苦戦を強いられました。両業態ともこれからの繁忙期に向け、生産性の向上を軸とした業態改善に積極的に取り組んでまいります。売上高は1,374百万円(前年同四半期比1.3%減)となり、セグメント利益(営業利益)は29百万円(前年同四半期比34.1%減)となりました。

(おむらいす亭)

おむらいす&パフェ専門店の「おむらいす亭」では、健康志向をさらに深化させ、16穀米、有機ケチャップ等の食材を導入いたしました。併せて、女性層をターゲットとした高付加価値セットメニューの拡充、平日ランチメニュー・週末の限定メニュー導入による提供時間短縮により、生産性の向上を軸に改善を図っております。

(長崎ちゃんめん)

長崎ちゃんぽん専門店「長崎ちゃんめん」では、キッチンオペレーションの抜本的変更等により提供スピードの追求による生産性の向上に取り組んでおります。また、テレビCMを使用した販売促進を強化し、新規顧客及び休眠顧客の掘り起こしを図ってまいります。

(その他業態)

日常食業態が厳しい過当競争の煽りを受けるなか、居酒屋「とりあえず吾平」が前年同四半期対売上119.1%、焼肉「カルビ大陸」も6月の売上が前年対比110.4%と復調の兆しを見せました、両業態とも繁忙期に向け更なる伸びが期待でき、引き続きこれら多業態の強みを活かしバランス感のある経営を行って参ります。

②教育事業

教育事業につきまして、英会話教室「NOVA」では一時期の破綻の風評被害も薄れた印象があり、前年同四半期比で新規生徒数が前年対比211.9%と好調に推移いたしました、業績は安定的に推移しており今後も積極的に新規顧客獲得の活動を行って参ります。また、学習塾「ITTO個別指導学院」では、平成24年6月に2校舎を新規オープンしており、前年同四半期比で新規生徒数が前年対比137.3%と順調に推移しております。売上高は181百万円(前年同四半期比11.0%増)となり、セグメント利益(営業利益)は8百万円(前年同四半期比6.6%増)となりました。

③食品加工事業

食品加工事業につきましては、既存外食店舗での売上減少に伴う出荷数減の影響を受け、売上高は44百万円(前年同四半期比35.5%減)となり、セグメント損失(営業損失)は3百万円(前年同四半期は9百万円の利益)となりました。

④その他の事業

その他の事業につきましては、建築施工及び設備メンテナンスを行っております。売上高は114百万円(前年同四半期比94.8%増)となり、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同四半期比19.6%増)となりました。

(2) 財政状態の定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は4,511百万円となり、前事業年度末と比較し140百万円減少しております。負債総額は2,328百万円となり、前事業年度末と比較して119百万円減少しております。純資産は2,183百万円となり、前事業年度末と比較し21百万円減少しております。その結果、自己資本比率は48.4%となり、前事業年度末と比較し、1.0ポイント上昇しております。

変動の主なものは、資産では現金及び預金の減少144百万円、負債では買掛金の減少95百万円、純資産では四半期純損失21百万円の計上による利益剰余金の減少であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想に関しては、平成24年5月15日に開示いたしました「平成24年3月期決算短信(非連結)」からの変更は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	245,387	101,225
受取手形及び売掛金	233,625	223,301
商品及び製品	22,123	28,568
仕掛品	7,851	3,190
原材料及び貯蔵品	69,595	70,696
その他	298,465	258,542
貸倒引当金	△11,697	△12,440
流動資産合計	865,351	673,084
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	946,545	951,477
土地	1,371,668	1,371,668
その他(純額)	179,132	191,073
有形固定資産合計	2,497,347	2,514,219
無形固定資産		
投資その他の資産	47,380	47,363
敷金及び保証金	887,916	882,828
その他	368,276	408,040
貸倒引当金	△13,981	△13,721
投資その他の資産合計	1,242,212	1,277,146
固定資産合計	3,786,939	3,838,729
資産合計	4,652,291	4,511,813
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,984	192,560
短期借入金	210,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	334,424	319,424
未払法人税等	58,725	18,124
引当金	43,853	37,103
資産除去債務	5,292	4,153
その他	374,638	412,642
流動負債合計	1,314,917	1,234,008
固定負債		
長期借入金	919,792	882,436
資産除去債務	127,477	136,129
その他	85,614	75,856
固定負債合計	1,132,883	1,094,421
負債合計	2,447,800	2,328,429

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,715,000	1,715,000
資本剰余金	521,970	521,970
利益剰余金	△31,752	△52,859
自己株式	△727	△727
株主資本合計	2,204,490	2,183,384
純資産合計	2,204,490	2,183,384
負債純資産合計	4,652,291	4,511,813

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,684,611	1,715,823
売上原価	639,890	686,286
売上総利益	1,044,720	1,029,536
販売費及び一般管理費	1,053,043	1,064,065
営業損失(△)	△8,322	△34,528
営業外収益		
受取利息	858	753
受取配当金	259	259
不動産賃貸料	19,900	17,996
その他	9,639	11,779
営業外収益合計	30,658	30,788
営業外費用		
支払利息	6,172	6,470
不動産賃貸費用	22,094	19,390
その他	6,139	3,360
営業外費用合計	34,406	29,221
経常損失(△)	△12,071	△32,961
特別利益		
固定資産売却益	123	—
会員権売却益	909	—
特別利益合計	1,033	—
特別損失		
固定資産除却損	1,969	149
店舗閉鎖損失	1,288	702
減損損失	—	2,916
特別損失合計	3,257	3,768
税引前四半期純損失(△)	△14,295	△36,729
法人税、住民税及び事業税	11,618	13,376
法人税等調整額	△2,895	△28,999
法人税等合計	8,722	△15,623
四半期純損失(△)	△23,018	△21,106

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。